

改訂日 2023年02月10日(第11版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	チルト® 乳剤 25
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	殺菌剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分 3
健康に対する有害性:	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(血液、目、気道)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定臓器標的毒性(反復ばく露)	区分 2(血液、呼吸器、目)
環境に対する有害性:	誤えん有害性	区分 1
	水生環境有害性、短期(急性)	区分 1
	水生環境有害性、長期(慢性)	区分 1

* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	引火性液体および蒸気 皮膚刺激 強い眼刺激 発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害のおそれ(血液、目、気道)
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(血液、呼吸器、目)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手する。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざける。禁煙。
容器を密閉しておく。
容器を接地しアースをとる。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用する。
火花を発生させない工具を使用する。
静電気放電に対する措置を講ずる。
ミスト／蒸気を吸入しない。
取扱い後は皮膚をよく洗う。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用する。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。
環境への放出を避ける。

【応急措置】

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。
無理に吐かせない。
皮膚に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ。皮膚を水で洗う。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察／手当てを受ける。
汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合:医師の診察／手当てを受ける。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは医師の診察／手当てを受ける。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受ける。
火災の場合:消火するために耐アルコール性泡消火剤を使用する。
漏出物を回収する。

【保管】

容器を密閉し、換気の良い冷涼な場所で保管する。
施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
 化学名 【一般名】 1-[2-(2,4-ジクロロフェニル)-4-プロピル-1,3-ジオキサラン-2-イルメチル]-1H-1,2,4-トリアゾール 【一般名:プロピコナゾール】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示 整理番号	CAS No.
プロピコナゾール	25.0	C ₁₅ H ₁₇ Cl ₂ N ₃ O ₂	8-(3)-731	60207-90-1
有機溶剤、界面活性剤等 (ソルベントナフサ)	75.0 (60-70)	—	— (9)-1691	— 64742-94-5
(ナフタレン)	(3.0)	C ₁₀ H ₈	(4)-311	91-20-3

4. 応急措置

一般的アドバイス 緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。

吸入した場合 被災者を空気の新鮮な場所に移す。呼吸をしていない場合や呼吸が不規則な状態である場合、人工呼吸を施す。安静・保温に努める。直ちに医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水を用いて洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。

眼に入った場合 直ちに多量の水で15分間以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診断、手当を受ける。

飲み込んだ場合 直ちに医師の手当てを受ける。医師に製品容器又はラベルを見せる。石油留分を含むため無理に吐かせない。

最も重要な急性および遅発性の症状 気道に侵入すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。

医療関係者への情報 特定の解毒剤はない。
 対症療法を行う。
 石油留分を含むため無理に吐かせない。

5. 火災時の措置

消火剤 小規模火災時: 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
 大規模火災時: 耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	棒状放水 製品は可燃性有機成分を含むため、火災時に危険な燃焼生成物を含む濃い黒煙を生成する(「10. 安定性及び反応性」参照) 分解生成物は健康に害を及ぼす可能性がある。 かなりの距離にわたる逆火が考えられる。
特定の消火方法	汚染された消火水を排水路や河川等に流入させない。 水を噴霧して密閉容器を冷却する。
消火を行う者の保護	完全な保護衣と自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。 漏洩した場所より風上に避難させる。 蒸気がたまと爆発性濃縮物が生成されるので注意する。蒸気は低い場所にたまる可能性がある。 付近の発火源となるものを取り除く。 逆火に注意する。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、漏出または流出防止の措置をとる。 河川または下水システムに排水しない。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め、浄化の方法及 び機材	漏出物を封じ込めて不燃性の吸収剤(砂、土、珪藻土、バーミキュライトなど)で吸収して容器に入れ、地域/国の規制に従って廃棄する(「13. 廃棄上の注意」を参照)。 汚染面を十分に浄化する。 洗剤で拭くこと、溶剤は避ける。 汚染された洗浄水を回収し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚や眼への接触を避ける。 ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。 ・耐炎性装置のある場所でのみ使う。 ・静電気放電に対して予防措置をとる。 ・個人用保護具に関しては「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥した涼しい換気のよい場所で、容器を密封して保管する。 ・小児の手の届く所には置かない。 ・可燃物から遠ざける。 ・スプリンクラーの設置された場所に置く。 ・食品や飼料と区別して保管する。 ・禁煙

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策
- ・ばく露が避けられない場合、密閉および/または隔離することが、技術的に最も確実な防御手段となる。
 - ・保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。
 - ・空气中濃度を職業暴露基準以下に保つ。
 - ・必要に応じて、追加の労働衛生に関連する情報を求める。

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	指標	管理濃度 / 許容濃度	出典
プロピコナゾール	TWA	5 mg/m ³	シンジェンタ社
ソルベントナフサ	TWA	100 mg/m ³	供給元
	TWA	200 mg/m ³ (総炭化水素蒸気)	ACGIH
ナフタレン	ACL	10 ppm	安衛法(管理濃度)
	TWA	10 ppm	ACGIH

- 保護具
- | | |
|------------|---|
| 呼吸器用の保護具 | 保護マスク |
| | 労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合、適切な認定呼吸器を使用する。 |
| 手の保護具 | 不浸透性手袋 |
| 眼の保護具 | ゴーグル型保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等 |

9. 物理的及び化学的性質

- | | |
|-------------|--|
| 物理状態 | 液体 |
| 色 | 黄赤色 |
| 沸点/沸騰範囲 | >170°C |
| 引火点 | 57°C (セタ密閉式、平衡法)
56.3 °C (タグ密閉式) |
| pH | 4-8 (1%w/v) |
| 動粘度 | 2.9 mm ² /s (40°C)
4.9 mm ² /s (20°C) |
| 密度 | 0.96 - 1.00 g/cm ³ (20 °C) |
| オクタノール/水分係数 | プロピコナゾール: log Pow = 3.72 (25°C) |

10. 安定性及び反応性

- 安定性 通常の条件下では安定。

反応性	ほとんどないと考えられる。
危険有害反応可能性	通常の条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	LD50 ラット(♀)	2,000 - 3,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (4hr)	> 20 mg/L (推定値)
急性毒性(経皮)	LD50 ラット	>4,000 mg/kg
皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ	刺激性あり
眼に対する重篤な損傷性/ 目刺激性	ウサギ	刺激性あり
呼吸器感受性又は皮膚感 作性	モルモット	皮膚感受性なし
発がん性	区分 2 に分類されるナフタレンをカットオフ値の 0.1%以上含有することから区分 2 とした。	
生殖毒性	動物実験により発育への悪影響が認められたプロピコナゾールを含有することから区分 2 とした。	
特定標的臓器毒性(単回)	区分 1(血液、目、気道)に分類されるナフタレンをカットオフ値の 1.0%以上 10%未満含有することから区分 2(血液、目、気道)とした。 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)に分類されるソルベントナフサをカットオフ値の 20%以上含有することから区分 3(気道刺激性、麻酔作用)とした。	
特定標的臓器毒性(反復)	区分 1(血液、呼吸器、目)に分類されるナフタレンをカットオフ値の 1.0%以上 10%未満含有することから区分 2(血液、呼吸器、目)とした。	
誤えん有害性	石油系の有機溶剤を含有しており、飲み込んで気道に侵入すると有害であると考えられるので区分 1 とした。	

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚毒性	コイ LC50 (96hr)	11.0 mg/L
	ブルーギル LC50(96hr)	6.7 mg/L
甲殻類毒性	ミジンコ EC50 (48hr)	6.9 mg/L
藻類毒性	緑藻 ErC50 (72hr)	17 mg/L
	緑藻 NOEC (72hr)	8 mg/L
		エンドポイント 成長速度
魚毒性(慢性)	ニジマス NOEC(21d)	0.6mg/L
甲殻類毒性(慢性)	ミジンコ NOEC (21d)	0.072 mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。</p>
------	--

14. 輸送上の注意

国際規制	
陸上輸送	
・国連番号	UN1993
・国連輸送名	引火性液体、N.O.S. (ソルベントナフサ、プロピコナゾール)
・国連分類	3
・容器等級	III
・ラベル	3
航空輸送	
・国連番号	UN1993
・国連輸送名	引火性液体、N.O.S. (ソルベントナフサ、プロピコナゾール)
・国連分類	3
・容器等級	III
・ラベル	引火性液体
・梱包指示(貨物機)	366
・梱包指示(旅客機)	355
・環境有害性	該当
海上輸送	
・国連番号	UN1993
・国連輸送名	引火性液体、N.O.S. (ソルベントナフサ、プロピコナゾール)
・国連分類	3
・容器等級	III
・ラベル	3
・EmS コード	F-E, S-E
海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	<p>運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。消防法の定めに従う。</p>

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 17725 号
-------	----------------

消防法	危険物第4類第2石油類(非水溶性液体)
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2) ナフタレン (3.0%)
	名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条) ナフタレン
化管法	第一種指定化学物質 プロピコナゾール(25%)
	第一種指定化学物質 ナフタレン(3.0%)

16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門 電話番号
HSEグループ 03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1件につき2000円)
大阪 (365日、24時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9-21時)	029-852-9999	029-851-9999

「チルト」はシンジェンタ社の登録商標です。